事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 7年 2月 4 日

事業所名 フレンズ元山

		チェック項目	はい	と55C も いえか	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	3		2	使用しない車いすは 別室へ移動するなどし、 広く取れるようにしていま す	活動スペースを 都度整えて安全を 第一に活動していきます
体制	2	職員の配置数は適切である	5			子ども二人に対して 1名のスタッフを配置し、 十分にサポートできる体 <u>勢を整えています</u>	
整備	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	5				基本バリアフリーを整え、 絵カードなど子どもに 対し設備をわかりやすく しています
	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 している	5			個別支援計画書を基に ケアプランの PDCAサイクルは スタッフ全員が参画 しています	
業務	(5)	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	5			ミーティング時など 全員が参加する時に 共有し改善策を 話し合っています	
改善	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	5			通信や会社HPにて 公開しています	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている			5		現時点では望ましい 段階なので今後の 課題とします
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	5			障害福祉課主催や Origin社内研修に 参加し、不参加者には共有し ています	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	5			モニタリングをはじめ、 日々の活動内容を スタッフ間で共有し 分析の上計画書を 作成しています	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	5				アセスメントシートを使用し、 5領域別に分け、 日々の活動を記録し対応 しています
	(1)	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			全てのスタッフが プログラム立案に 参加しています	
適切か	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5				季節や個々の目標に 合わせて毎日違った プログラムを提供しています
な支援の	(13)	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	5			ニーズにあわせた 本人支援をはじめ 項目別に具体的な 支援内容を設定 しています	
提供	14)	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせて放課後等デイサービス 計画を作成している	5			個別、集団と分けて 目標を計画し支援に 繋げています	
	(15)	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	5			毎月のミーティングで 細かく支援方法を決め 当日も確認しています	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	5			個々で気になる事を 話し合い対応策を決め 共有しています	当日いないスタッフにも 後日共有を行っています
	17)	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			活動記録を残し、検証改善につなげています	

		チェック項目	はい	とちりともいえか	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	5			ニーズの確認や学校目標の確認も同時に行い計画の見直しを行っています	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	5			学校目標も含め生活の 自立や遊びも様々な プログラムを行って います	外遊びを含め、地域交流の 場を作り作品作りでは主体性 を重視した活動を心掛けてい きます
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	5			基本児発管が参加しています	
	21)	学校との情報共有(年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、 連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡)を適切に行っている	5			連絡会の参加や 携帯ツールを利用し、 情報共有を行っています	都度、必要に応じ対応し ていきたいと思います
関係機関	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えてい る	5			医療的ケア指示書に 記入頂き内容に沿った ケアを看護師が 行っています	今後も適切に対応できるよう 連絡体制を整えていきます
や保護者	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との 間で情報共有と相互理解に努めている	5			必要に応じ対応して います	今後も密に情報共有をし、 相互理解を深めより良い支援 に結びつくように努めます
との連携関係	24)	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5			必要に応じ対応して います	依頼があれば情報共有をし より良い支援に結びつくよう 努めます
機関や保	25	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	5			相談員を中心に センターとの連携し 必要に応じ受けています	
護者との	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害 のない子どもと活動する機会がある	3	2		設けています	積極的に公共施設を利用し 交流の場を広げて いきたいと思います
連携	2	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に 参加している	5			こども部会主催の 研修会参加や 松戸重心児通所支援 連絡会の参加を通じ 情報共有をしています	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っている	5			活動記録や送迎時を 基本に必要に応じて 情報交換をしています	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	5			研修会の情報や、 必要に応じて 家族支援を行って います	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等に ついて丁寧な説明を行っている	5			契約時等必要に応じ 説明を行っています	
	31)	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			いつでも対応できるよう 必要に応じ面談、 助言を行っています	
保	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援 している	5			父母の会の情報や、 定期的な茶話会により 交流の場を設けています	

		チェック項目	はい	とちりと も いえか	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
護者への説	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の 体制を整備するとともに、子どもや保護者に 周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に 対応している	15			必要に応じスタッフ全員 と情報共有し、迅速に 対応しています	
明責任等	34)	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	5			毎月の通信やX配信で 情報を発信し、周知して います	
	35)	個人情報に十分注意している	5			施錠管理しています	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしている	5			必要に応じ対応して います	
	37)	事業所の行事に地域住民を招待する等地域 に開かれた事業運営を図っている	1		4	よみがたり会へ兄弟や 地域の方々へ周知して いますが参加の実績は ありません	今後分かりやすくHP等でも 告知を行い周知を広めたい と思います
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に 周知している	5			契約時や茶話会など 手に取り見やすい場所 に設置しています	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出その他必要な訓練を行っている	5			年2回〜3回必要な訓練 を実施しています	
非常時	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしている	5			県や市主催の研修を 中心に参加し、 情報共有を行っています	
等の対応	41)	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			事前に保護者との 共有認識を持ち、 了承を得たうえで 計画書に記載しています	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされている	5			必要に応じ医師の 指示書に基づく対応を しています	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で 共有している	5			ヒヤリハット報告書は 手に取れる場所に 保管し、速やかに、記入 共有を心掛けています	

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

<u>公表:令和7年 2月 4日</u>

事業所名 フレンズ元山 保護者等数(児童数) 9 回収数 割合 100%

<u> </u>	<i>17</i> 1 10	ノレンスル田	NUR E	1 11 34 /	<u> 几里双</u>	3 <u>111/1/30</u>	레 100
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されて いる	6	2	1		10名の定員で設備基準を満たした スペースを確保できていますが 棚の位置などを工夫し広い スペースを作り、活動してまいります
体制	2	職員の配置数や専門性は適切である	8	1			看護職員を配置し、医ケア対応を 適切に行い児童指導員は各研修会など 参加し、療育等のスキルアップを 図っております
整備	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置 などバリアフリー化の配慮が適切になされている	9				車いすが入れるスペースの トイレや手すり、スロープを 設置しております
適切な	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されている	9				保護者の皆様のご協力によりモータリング、計画~支援が適正に行われています お子様の小さな変化やご相談などお 気軽にお問い合わせください
支援の	(5)	活動プログラム が固定化しないよう工夫されている	9				毎回新鮮な気持ちで過ごせるよう 職員間で話し合いマンネリ化しないよう にしています
提供	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害の ない子どもと活動する機会がある	5	3	1		近隣にパリアフリーの施設がなく交流の機会を設けることが難しかったのですが、今後新設した「ひがまつテラス」に 行き交流の機会を設けたいと思います
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な 説明がなされたか	9				契約時にご説明させて いただいております
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 ができている	9				連絡帳や、送迎時に報告や モニタリングを通し お話させて頂いております
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言 等の支援が行われている	9				半年に1度のモニタリング時や 都度保護者から要望があれば、相 談、助言できる体制を取っております
保護者	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援されて いる	7	2			5.6.7.9.10.11.1.2月と保護者の方々や、 スタッフとの情報共有、交流の場として 茶話会を開催しています 日時やテーマなどご要望ございましたら、 お知らせください
への説明等	11)	子どもや保護者からの苦情について、対応の 体制を整備するとともに、子どもや保護者に 周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ 適切に対応している	9				保護者のみなさまの ご支援、ご協力により、 苦情等頂いたことはございませんが、ご意見等ございましたら ご連絡下さい
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の ための配慮がなされている	9				カードやコミニケーションツールを 使用したり表情や態度から気持ちを 汲み取れるよう、支援に取り組んで いきたいと思います
	(13)	定期的に会報やホームページ等で、活動概要 や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関 する自己評価の結果を子どもや保護者に対し て発信している	9				送迎時や、連絡帳、通信等で 発信しています 今後も様々なツールを使用し 保護者の皆様に発信して いきたいと思います
	14)	個人情報に十分注意している	9				今後も十分に取扱いに注意し 施錠管理に取り組みます
非常時等	15)	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説 明 されている	9				契約時にご説明させて いただいており保護者の方々の 認知度が高く今後も徹底してい きたいと思います

の対応	(16)	非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出、その他必要な訓練が行われている	9			年2回の避難訓練と年1回の 計画見直しを行い 「つうしん」にてお知らせして います
満	17)	子どもは通所を楽しみにしている	9		いつも楽しみに しています ありがとう ございます	本年度も皆様の 暖かい評価をいただき ありがとうございます
足度	18)	事業所の支援に満足している	9		いつも優しく 柔軟に対応 いただき 感謝していま す	今後もスタッフー同 笑顔で過ごせる 憩いの場を 提供できるよう 努めます

〇この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等 デイサービス自己評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

* 利用者がいないため職員へのアンケートは行っておりません

<u>公表:令和 7年2月 4日</u>

事業所名 フレンズ元山

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切である				パーテンションや畳みマットを備えて 個別、集団活動に柔軟に対応できるよう にしております
環境	2	職員の配置数は適切である				利用人数に合わせた配置を 適切に行います
・体制整備	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された 環境になっている。また、障害の特性に応じ、事 業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等 への配慮が適切になされている				車いす対応のスロープや手すり、 その他絵カードや文字による 場所の表示、個々に合わせた ツールの準備をしています
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境に なっている。また、子ども達の活動に合わせた 空間となっている				空気清浄機や加湿器を用いたり、 終了後には清掃を行い、 清潔で気持ちよく過ごせる空間を 作っています
	(5)	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している				PDCAサイクルをスタッフに周知し、業務 改善を進めます
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して 事業所の評価を実施するとともに、保護者等の 意向等を把握し、業務改善につなげている				毎月配布の「つうしん」や モニタリング時などからの聞き取りや、 評価表の内容など、茶話会にてお話し、 業務改善を行うよう考えています
業務改善	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している				より良い開けた事業所を目指します
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている				
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保している				都度、研修会に参加し、 職員向上に努めます
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、児童 発達支援計画を作成している				ニーズに合わせ本人支援を初め、 項目別に設定した上で、具体的な支援内 容を設定します
適切な	11)	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用している				アセスメントツールに乗っ取り、 適応行動の状況把握に努めます
支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている				ニーズに合わせ本人支援を初め、 項目別に設定した上で、具体的な支援内 容を設定します

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	13)	児童発達支援計画に沿った支援が行われて いる				
	14)	活動プログラムの立案をチームで行っている				全てのスタッフで行います
	15)	活動プログラムが固定化しないよう工夫している				季節や個々の目標に合わせ プログラムを提供します
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成 している				個別、集団の目標に分け 計画します
	17)	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担について 確認している				毎月のミーティングで支援内容の 決定確認します
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた 点等を共有している				個々に気付いたことを話し合い、 共有し支援に繋げていきます
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、 支援の検証・改善につなげている				活動記録に残し、検証、改善に 努めます
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援 計画の見直しの必要性を判断している				ニーズの確認、学校目標の確認も 同時に行い計画していきます
	21)	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議 にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者 が参画している				児発管が参加しスタッフに 周知します
関	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や 関係機関と連携した支援を行っている				関係機関と連携をとり支援につなげて いきます
係機関や保護部	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				医師の指示書を基に看護師が 適切な対応をしていきます
者との連携関	24)	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				医師の指示書を基に看護師が 適切な連絡体制を取っていきます
係機関や保	25)	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている				必要に応じ対応していきます
護者との連	26	移行支援として、小学校や特別支援学校 (小学部)との間で、支援内容等の情報共有 と相互理解を図っている				必要に応じ対応していきます
携	27)	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関 と連携し、助言や研修を受けている				相談員を中心に連携、必要に応じ 対応します
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、 障害のない子どもと活動する機会がある				都度機会を設けていきたいと思いま す

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の 子ども・子育て会議等へ積極的に参加している				積極的に参加し情報共有したい と思います。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解を 持っている				活動記録や送迎時など必要に 応じ情報交換をしていきます
	31)	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護 者に対して家族支援プログラム(ペアレント・ト レーニング等)の支援を行っている				研修会の情報公開や必要に応じ 家族支援を行っていきます
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明 を行っている				契約時その都度、必要に応じ 説明を行います
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の 提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これ に基づき作成された「児童発達支援計画」を示 しながら支援内容の説明を行い、保護者から児 童発達支援計画の同意を得ている				計画の提示と、必要に応じ 詳しく説明をします
保	34)	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている				いつでも対応できる体制をとり、 面談、助言を行います
護者への	35)	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援 している				父母の会の情報共有や、定期的 な茶話会を開催し、交流の場を 設けます
説明責任等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、 対応の体制を整備するとともに、子どもや保護 者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速 かつ適切に対応している				必要に応じ、スタッフで情報共有し 迅速に対応できるよう努めます
₹	37)	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に 対して発信している				毎月通信発行やXでの配信で 周知します
	38	個人情報の取扱いに十分注意している				施錠管理に努めます
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしている				必要に応じ対応していきます
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に 開かれた事業運営を図っている				幅広く地域の方々に周知し、 開かれた事業所を目指します
非常時	41)	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している				契約時や茶話会などで説明を 行い、常に手に取れるところに 配置し、必要な訓練を定期的に 実施します
等の対	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練を行っている				定期的に必要な訓練を行います
応	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の こどもの状況を確認している				医師の指示書を基に看護師が 適切な連絡体制をとっていきます

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされている				医師の指示書を基に 適切な連絡体制、対応を行います
	45)	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有し ている				直ぐ確認できる場所に保管し、 速やかに、記入、共有に努めます
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保 する等、適切な対応をしている				県や、市主催の研修を中心に 参加し、スタッフ全員に周知、 情報共有を行います
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかに ついて、組織的に決定し、子どもや保護者に 事前に十分に説明し了解を得た上で、児童 発達支援計画に記載している				事前に保護者との共通認識を持 ち、了承を得て計画書に記載しま す

〇この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。